

バイオ炭活用による三方よし (生産者・消費者・地域) プロジェクト

2022年9月12日

JA長野中央会
JA長野県女性協議会
JA長野県青年部協議会
長野県生協連
(一社)日本クルベジ協会

- ・バイオ炭は、「燃焼しない水準に管理された酸素濃度の下、350°C超の温度でバイオマス(木や竹、もみ殻などの生物由来資源)を加熱して作られる固形物」と定義されています。
- ・バイオ炭の原料となる木材や竹等に含まれる炭素は、そのままにしておくとも微生物の活動等により分解され、二酸化炭素として大気中に放出されてしまいます。しかし、木材や竹などを炭化し、バイオ炭として土壌に施用することで、その炭素を土壌に閉じ込め(いわゆる「炭素貯留」)、大気中への放出を減らすことが可能になります。
- ・農地へのバイオ炭の施用は、2019年度より国際的な排出・吸収量報告(温室効果ガスインベントリ報告)における温室効果ガスを吸収する取組の1項目として認められました。日本クルベジ協会では、農地へのバイオ炭の施用実績を取りまとめ、売買可能な「J-クレジット」として2022年より取組みを始めています。
- ・バイオ炭の農地への施用は、土壌の透水性、保水性、通気性の改善などの効果があるとされています。
- ・また、地力増進法(昭和59年法第34号)の政令で、木炭は土壌改良資材に指定されています。

バイオ炭施用にかかる流れ



(JA中野市 廃培地燻炭器)



(JA上伊那 もみ殻燻炭)



(剪定枝燻炭 モキ製作所HPより)

バイオ炭製造

3

- ・JA上伊那(もみ殻:中部営農センター)
- ・JAあづみ(剪定枝:リンゴ部会梓支部)

* JA中野市の燻炭廃培地 他の提供についても検討中



施用・「J-クレジット」対応支援
(一社)日本クルベジ協会

バイオ炭使用者(農産物生産)

- ・JA青年部協議会、JA女性協議会及び
バイオ炭使用に興味のある農業者
- ・(社福)くりのみ園、
- ・高遠藤沢里山再生協議会 等



農産物PR及び販売・飲食店活用

- ・直売所、JAによる販売・PR
- ・飲食店による食材消費
- ・JA女性協議会、長野県生協連による消費協力

期 間	2022年9月～2025年3月
場 所	長野県内
めざす姿 (3年後)	長野県内において、地域レベルでのバイオ炭の製造・農家におけるバイオ炭利用による持続可能な農業の推進、及び消費者が農産物を購入する際、バイオ炭を使用した農産物を適正な価格で積極的に購入し、地域の持続可能な農林業の発展、農業を通じた温暖化対策が進む社会となる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①長野県内の農業者・消費者のバイオ炭を使用した農産物の認知が向上している ②地域における持続可能なバイオ炭の製造とバイオ炭使用農産物の栽培により、環境にやさしい農業を実現していく ③バイオ炭使用農産物の流通の仕組みが構築され、消費者やレストランなどの事業者がバイオ炭使用農産物を適正価格で購入している

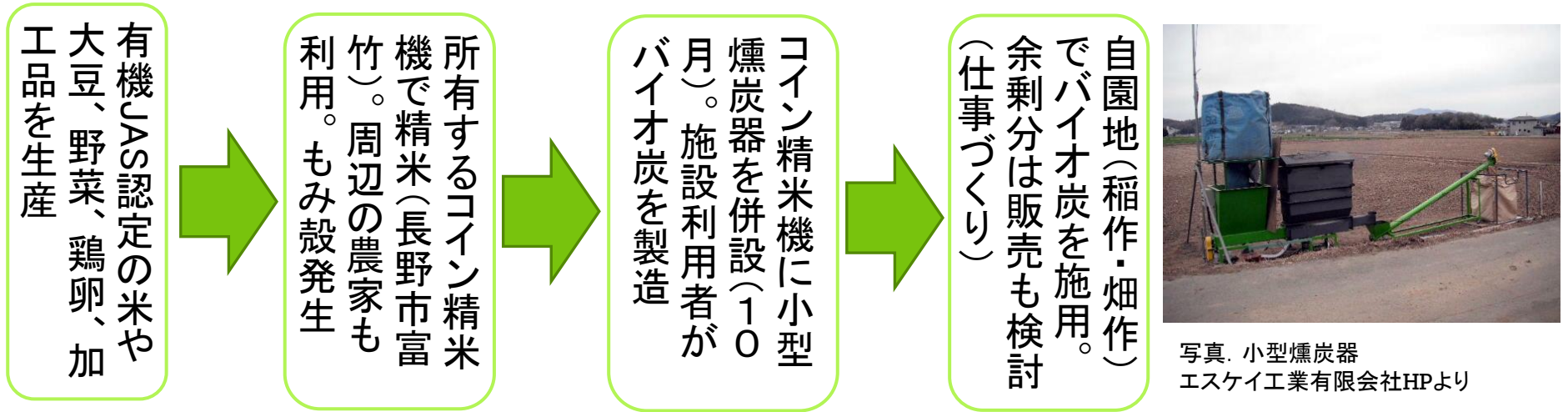
	役 割
JA長野中央会	全体統括・調整、バイオ炭普及に向けた販売促進・PR活動 等
JA長野県女性協議会	残渣の燻炭化・活用促進、バイオ炭活用農産物栽培・出荷 等
JA長野県青年部協議会	残渣の燻炭化・活用促進、バイオ炭活用農産物栽培・出荷 等
長野県生協連	バイオ炭・農業分野の地球温暖化対策に関する意識調査への協力、バイオ炭農産物消費拡大協力 等
(一社)日本クルベジ協会	バイオ炭使用に関するセミナー・講習会開催支援、J-クレジット参加に向けたコンサル 等

令和4年度実証試験内容

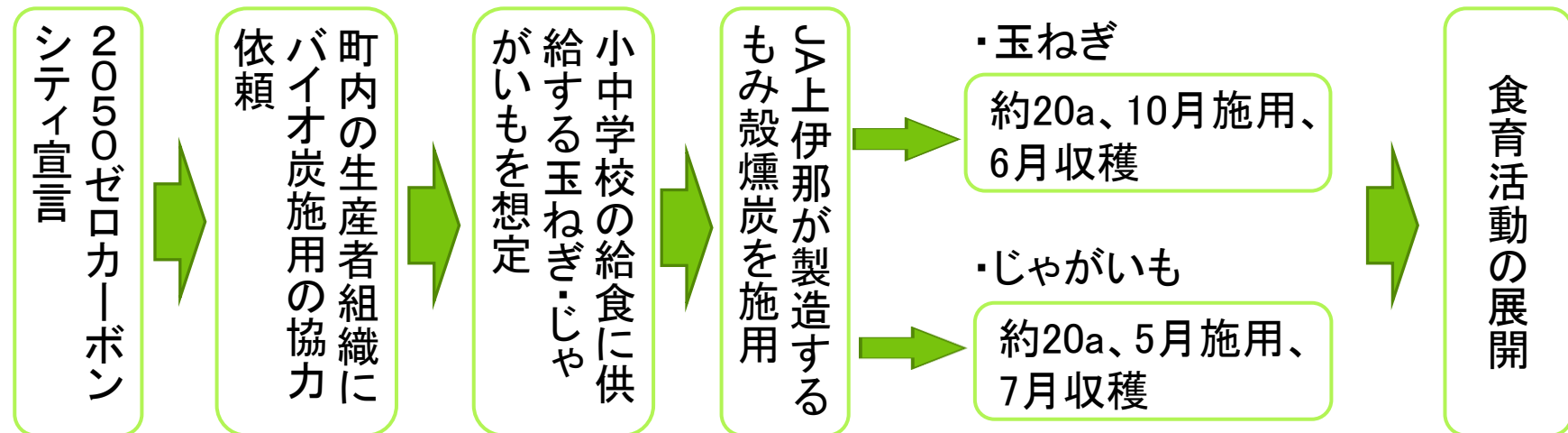
	2022年度				
	8月	9月	10月	11月	12～3月
JA上伊那管内	・使用者の選定	・炭の分析 ・もみ殻燻炭の配布		・土壌分析 ・炭の使用	
JAあづみ管内	・JAや部会員への説明、使用状況の把握		・剪定枝の炭化、分析	・土壌分析 ・炭の使用	
女性部、青年部、生協連(消費者、生産者)		・アンケート調査の実施	・炭使用量の取りまとめ	・炭の使用	・使用報告書の提出 ・バイオ炭製造講習会
日本クルベジ協会	・PJ打ち合わせ(バイオ炭使用、農産物ブランド化のアドバイス、啓蒙活動の講師依頼)		・バイオ炭製造、施用支援(随時)		・講演会の講師対応
高遠町藤沢里山再生協議会 (社福)くりのみ園		・趣旨説明、協力依頼		・炭の使用	・使用報告書の提出
中央会・地域開発機構	・実証実験開始準備 ・協力団体の検討	・キックオフミーティングの開催 ・実証実験参加者の取りまとめ	・バイオ炭使用調査票の作成	・現場支援	・炭の使用状況の確認 ・パンフレットの作成・配布、講演会の開催 ・R4年度報告会(3月)

実証試験具体例(構想中)

1. 社会福祉法人くりのみ園



2. 箕輪町



本プロジェクトに関する問い合わせ先

JA長野中央会 総務企画部 担当:大久保(PJ全体)
〒380-0826 長野市北石堂町1177-3 TEL:026-236-2016

長野県農協地域開発機構 地域開発部 担当:坂(バイオ炭関係)
〒380-0826 長野市北石堂町1177-3 TEL:026-236-3500

E-mail(共通): biochar_pj@chu.nn-ja.or.jp